

樋の口浄水場等建設事業

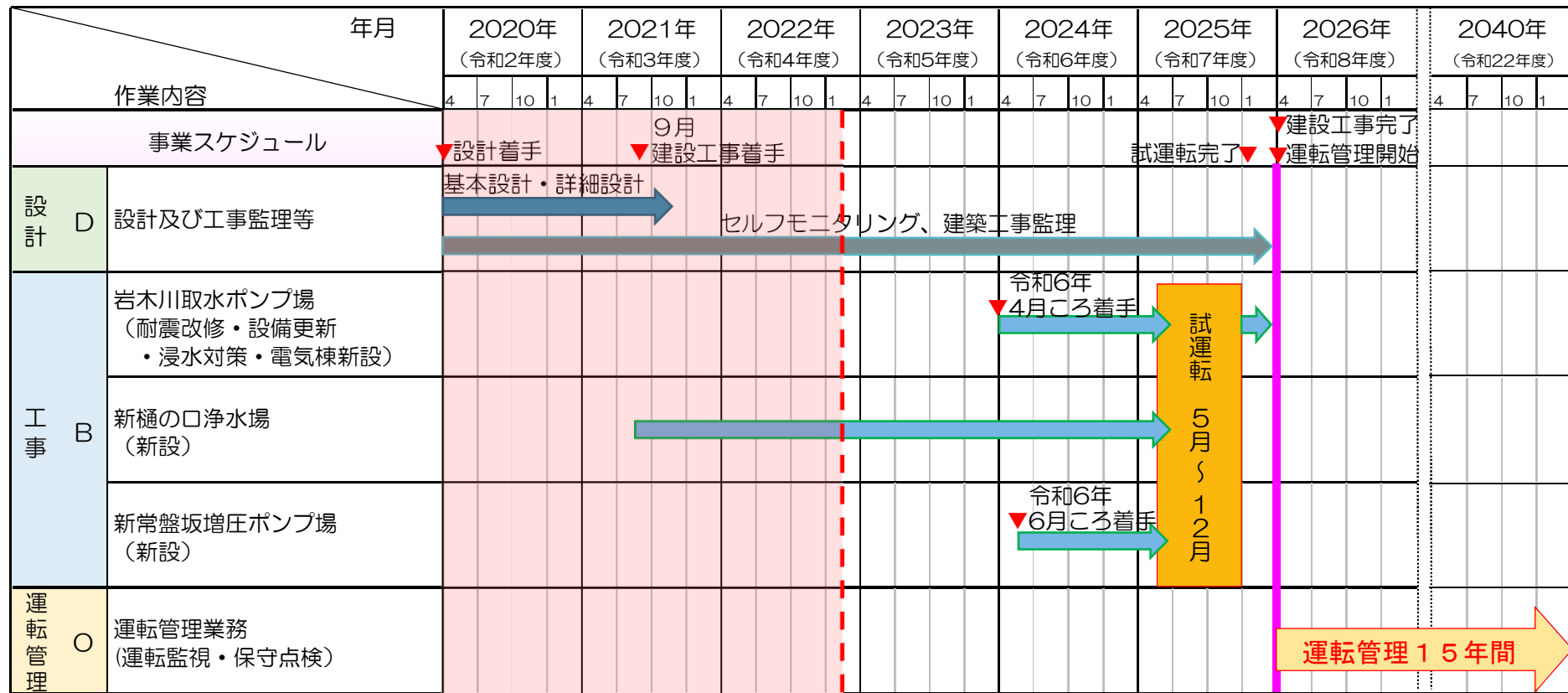
物価変動に伴う契約額の増額変更と 進捗状況について



弘前市上下水道部工務課

現在の状況

2023年2月時点



3/25契約↑

現在↑

物価上昇率
約112%

契約書第34条、物価の変動等に対応する請負工事額の変更（いわゆるスライド条項）に基づき、受注者より請負代金額の変更請求あり。

※上昇率は建設工事デフレーター（国土交通省）、上・工業用水道による

スライドの種類

※設計及び建設工事請負契約書第34条（賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更）

賃金水準又は物価水準の変動により請負代金額が不適当となったと認めたときは、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

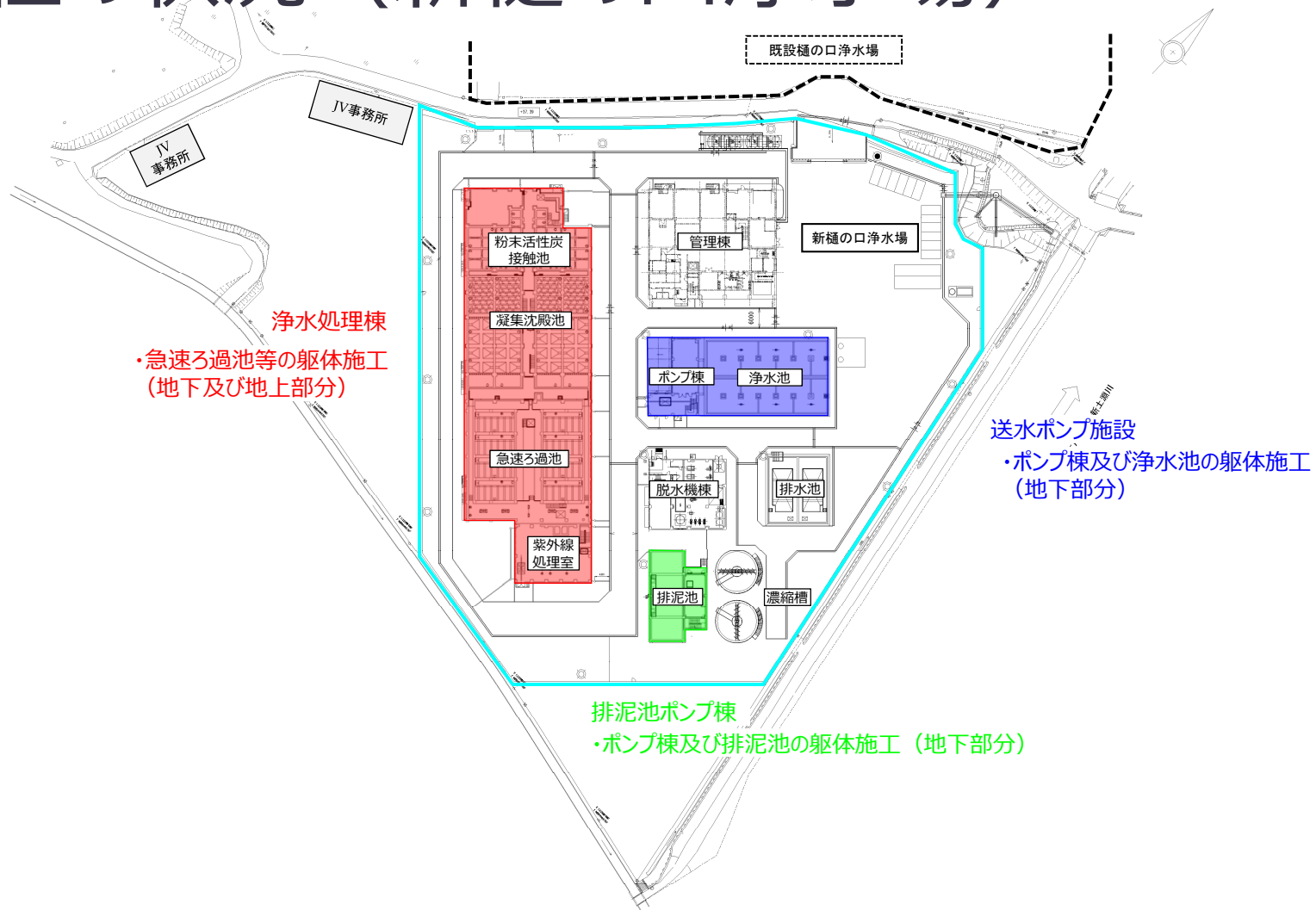
項目		全体スライド	インフレスライド	単品スライド
適用対象工事		工期が12ヶ月を超える工事 但し、基準日以降、残工期が2ヶ月以上ある工事（ 比較的大規模な長期工事 ）	すべての工事 但し、基準日以降、残工期が2ヶ月以上ある工事（運用通達発出日時点で継続中の工事及び新規契約工事）	すべての工事 （運用通達発出日時点で継続中の工事及び新規契約工事）
請負額変更の方法	対象	請負契約締結の日から12ヶ月経過した基準日以降の残工事量に対する資材、労務単価等	運用通達に基づく被災三県において賃金水準の変更がなされた日以降の残工事量に対する資材、労務単価等	部分払いを行った出来形部分を除く全ての資材（鋼材類、燃料油類等）
	受発注者の負担	残工事費の1.5%	残工事費の1.0% （29条「天災不可抗力条項」に準拠し、建設業者の経営上最小限度必要な利益まで損なわれないよう定められた「1%」を採用。）	対象工事費の1.0% （但し、全体スライド又はインフレスライドと併用の場合、全体スライド又はインフレスライド適用期間における負担はなし）
	再スライド	可能（全体スライド又はインフレスライド適用後、12ヶ月経過後に適用可能）	可能（運用通達に基づく被災三県において賃金水準の変更がなされる都度、適用可能）	なし（部分払いを行った出来形部分を除いた工期内全ての資材を対象に、精算変更契約後にスライド額を算出するため、再スライドの必要がない）

出典：全体スライド条項運用マニュアル（国土交通省）

採用

原請負額 117億7千万円 + スライド増額 約9.9億円 = 変更請負額 約127億6千万円

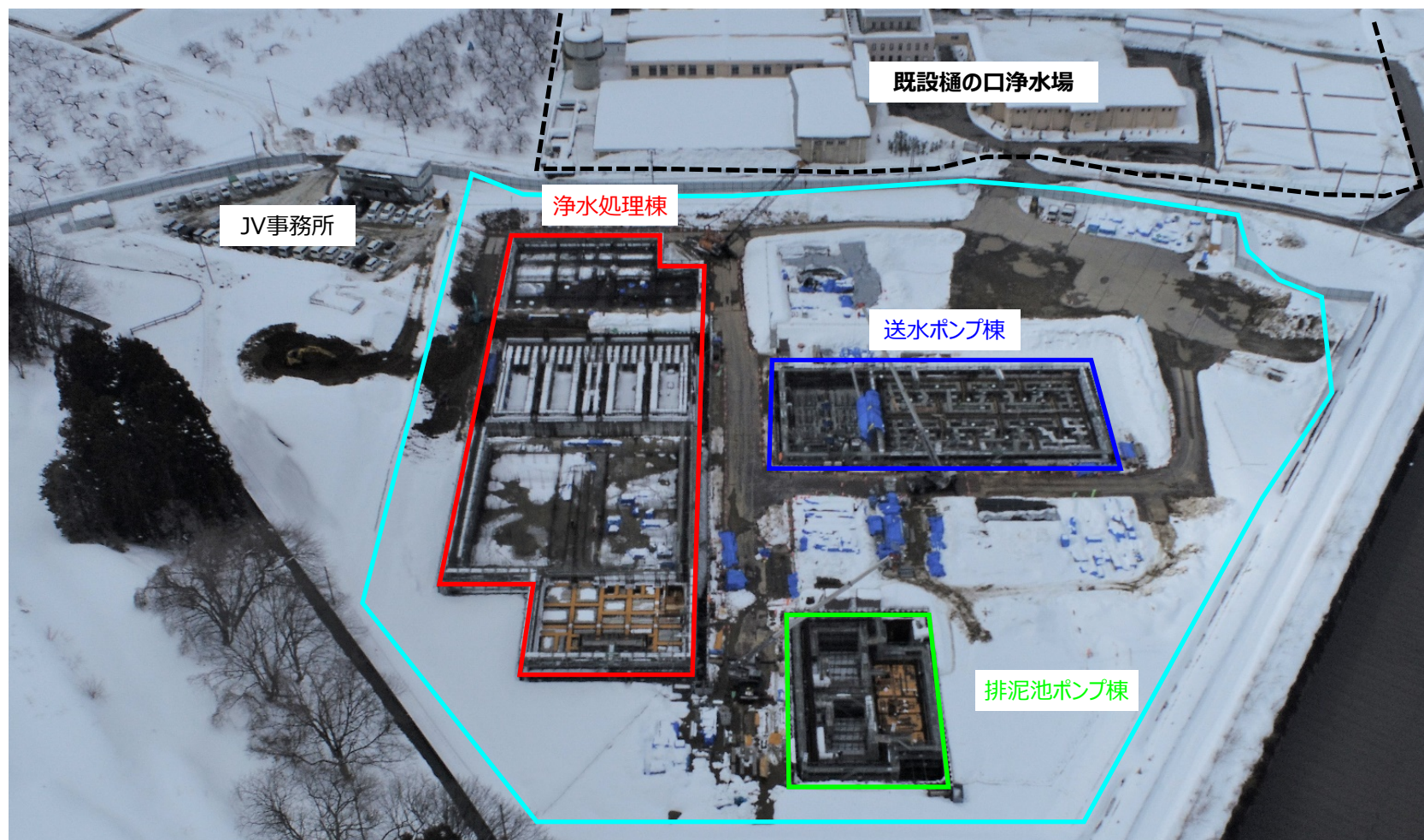
現在の状況（新樋の口浄水場）



現場状況写真①（新樋の口浄水場）

現場全体（空撮）

令和2年2月27日撮影



(参考) 新樋の口浄水場完成予想図



※イメージ図のため実際とは異なる場合があります

施工状況写真②（新樋の口浄水場）

浄水処理棟 地下1階梁型枠施工状況



令和2年2月27日撮影